

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	当別南部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 0 8 7, 8 6 3 千円	
年 効 用	②	1 5 0, 3 3 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	2 0, 9 1 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	2, 7 6 8, 2 4 9 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 2	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 3, 5 7 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ブロッコリー、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 7, 5 4 5	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ブロッコリー、トマト
	維持管理費節減効果	1 3, 3 4 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 5, 8 6 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		1 5 0, 3 3 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	886,100千円	
年 効 用	②	63,579千円	
廃 用 損 失 額	③	7,325千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,172,248千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.32	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,611	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、ニンジン、ネギ、キャベツ
営農経費の節減	33,589	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、ニンジン、ネギ、キャベツ
	811	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	21,015	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	451	用水路の暗渠化による事故率の減少
	3,784	関連事業により整備された施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	50	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費節減
	268	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計	63,579	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	共和中央
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	882,000千円	
年 効 用	②	65,245千円	
廃 用 損 失 額	③	27,556千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,152,281千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	29,910	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、メロン、すいか、スイートコーン、かぼちゃ
	品質向上効果	2,336	農道の整備による防塵、荷痛み防止 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、メロン、すいか、スイートコーン、かぼちゃ
営農経費の節減	営農経費節減効果	17,647	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、メロン、すいか、スイートコーン、かぼちゃ
	維持管理費節減効果	4,691	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1,895	農道整備による車両の大型化や走行時間の短縮
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,750	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	16	農道の整備による一般交通の時間短縮
計		65,245	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	西川中
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 7 1 1, 5 0 0千円	
年 効 用	②	1 2 7, 3 9 0千円	
廃 用 損 失 額	③	1 9, 6 6 3千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 5年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 9 0 7, 5 6 8千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 1	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 7, 5 4 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、タマネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 6, 7 9 2	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稻、小麦、タマネギ
	維持管理費節減効果	2 7, 2 8 2	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 5, 7 7 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		1 2 7, 3 9 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	納内南
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 9 2 1, 8 3 3 千円	
年 効 用	②	1 3 4, 6 8 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	2 1, 1 5 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 1 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	2, 6 1 4, 5 0 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 3, 8 7 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 ソ マメ、 ス ターチス、馬鈴薯
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 5, 0 2 7	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 ソ マメ、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	2 0, 4 0 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 5, 6 1 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	3, 3 5 4	用水路の暗渠化による事故率の減少
	公共施設保全効果	1 9 1	関連事業により整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	6, 1 2 8	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	地域用水効果	3	関連事業として整備する農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費節減
	水辺環境整備効果	9 2	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		1 3 4, 6 8 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	多度志北
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6, 3 7 9, 3 6 9 千円	
年 効 用	②	3 5 4, 2 1 0 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 3 8, 8 0 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	6, 8 4 7, 5 8 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9, 0 3 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、そば、小麦、大豆、小豆、メロン、スイートコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 2, 2 4 6	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、そば、小麦、大豆、小豆、メロン、スイートコーン
	維持管理費節減効果	1 4 4, 3 9 7	用水施設の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 2 1, 4 0 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	地域洪水被害軽減効果	2, 2 8 8	関連事業の整備による、農業施設及び公共施設への水害の防止・軽減
	公共施設保全効果	1 0, 6 4 4	関連事業として整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	5 4, 2 0 1	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
計		3 5 4, 2 1 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	共栄
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 6 5 9, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 1 5, 8 6 1千円	
廃 用 損 失 額	③	3, 5 5 9千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 7 8 9, 9 5 5千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 9, 2 0 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 ※ 雑穀
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 5, 4 7 9	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 ※ 雑穀
	維持管理費節減効果	4 9, 8 4 6	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1, 3 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		1 1 5, 8 6 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	岐阜
-----	-------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	８３７，２３５千円	
年 効 用	②	８１，１３０千円	
廃 用 損 失 額	③	１９，４０３千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	３６年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	０．０５４６	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	１，４６６，４９４千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	１．７５	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	３８，９５９	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、苧、人参、苺
営農経費の節減	営農経費節減効果	１８，４１２	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、苧、人参、苺
	維持管理費節減効果	７，２５４	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	１２，２８７	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	２３６	用水路の暗渠化による事故率の減少
	公共施設保全効果	４４６	関連事業により整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	３，５０３	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	地域用水効果	２０	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費節減
	水辺環境保全効果	１３	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		８１，１３０	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	奈井江瑞穂
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	997,500千円	
年 効 用	②	88,082千円	
廃 用 損 失 額	③	54,524千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,636,109千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.64	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	11,382	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	20,345	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、牧草
	維持管理費節減効果	40,506	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	15,849	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		88,082	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	新双誠
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3, 7 5 1, 9 4 1 千円	
年 効 用	②	2 9 5, 3 1 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 6 1, 4 8 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5, 5 6 1, 6 9 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 4 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	6 3, 0 7 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、タマネギ、ハクサイ、柿
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 8, 3 5 0	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、タマネギ、ハクサイ、柿
	維持管理費節減効果	8 2, 0 7 4	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 0 0, 0 8 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	2, 3 1 6	関連事業により整備された用水路の暗渠化及びフェンス設置による事故率の減少
	公共施設保全効果	9, 4 2 3	関連事業により整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減
計		2 9 5, 3 1 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	協栄
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 9 0 3, 5 0 3 千円	
年 効 用	②	2 6 7, 4 0 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 2 9, 4 3 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 4 9 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5, 2 7 2, 6 2 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5, 7 3 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ブロッコリー、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 0, 7 1 1	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ブロッコリー、トマト
	維持管理費節減効果	7 5, 9 7 0	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 0 2, 7 3 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域洪水被害軽減効果	1, 7 8 8	関連事業の整備による、農業施設及び公共施設への水害の防止・軽減
	公共施設保全効果	8, 1 0 5	関連事業として整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	4 2, 3 6 1	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
計		2 6 7, 4 0 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	日の出
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3, 3 9 9, 4 9 6 千円	
年 効 用	②	1 9 0, 7 8 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	8 5, 2 8 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 4 9 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	3, 7 6 8, 9 9 9 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 0	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 1, 3 7 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ブロッコリー、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 0, 2 2 0	ほ場の排水性の改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ブロッコリー、トマト
	維持管理費節減効果	2 6, 1 4 5	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 3, 1 2 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域洪水被害軽減効果	1, 0 2 4	関連事業の整備による、農業施設及び公共施設への水害の防止・軽減
	公共施設保全効果	4, 6 4 2	関連事業として整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	2 4, 2 6 0	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
計		1 9 0, 7 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	追分２期
-----	-------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 0 1 5, 9 9 0千円	
年 効 用	②	3 5 6, 3 6 6千円	
廃 用 損 失 額	③	1 2 2, 8 1 8千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	6, 5 6 3, 2 2 3千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 6 3	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 8, 1 4 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、タマネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 8, 9 5 2	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稻、小麦、タマネギ
	維持管理費節減効果	1 3 5, 9 6 8	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 2, 7 4 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	2, 8 9 0	関連事業として整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	2 6, 0 4 8	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	地域用水効果	5 9 3	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することによる設置費節減
	水辺環境整備効果	1, 0 2 2	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		3 5 6, 3 6 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	瑞生
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 3 5 3, 1 1 4 千円	
年 効 用	②	1 2 6, 0 5 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	7 0, 9 0 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 6 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 8 2 4, 6 7 5 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 9, 9 9 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、小豆、アスパラ、にんじん、長ネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 2, 8 4 8	ほ場の排水性の改善や区画整理等による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、小豆、アスパラ、にんじん、長ネギ
	維持管理費節減効果	1 1, 3 5 6	用排水施設の新設・改修に伴う施設の維持管理費の増または節減 対象施設：用水路（新設）、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 1, 8 6 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		1 2 6, 0 5 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	美里
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	5, 5 6 7, 0 3 7 千円	
年 効 用	②	3 2 4, 3 3 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 2 0, 6 3 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	6, 3 2 7, 2 9 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 6, 2 3 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ホトチヤ、ホトシヤ、トウモロコシ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 4 1, 1 9 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ホトチヤ、ホトシヤ、トウモロコシ
	維持管理費節減効果	3 9, 8 3 8	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
	営農に係る走行経費節減効果	2 9 6	農道設置に伴う農産物の流通や通作の効率化
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 2 4, 6 4 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	7 0 6	関連事業として整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	地域用水効果	1, 2 7 7	農業用水を防火用水施設等に利用することにより設置費節減
	水辺環境整備効果	1 5 1	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		3 2 4, 3 3 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	青森県	地区名	豊 間 内
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	970,619千円	
年 効 用	②	57,631千円	
廃用損失額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,055,512千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.08	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	6,353	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、にんにく、そば、大豆など
営農経費の節減	26,344	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	14,360	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	9,924	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	650	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減 対象施設：創設非農用地
計	57,631	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	夏川 3 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	10,531,000千円	
年 効 用	②	982,234千円	
廃 用 損 失 額	③	494,493千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0693	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	13,679,158千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.29	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	56,635	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、牧草、なす、きゅうり、大豆など
営農経費の節減	営農経費節減効果	785,698	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、牧草、なす、きゅうり、トマトなど
	維持管理費節減効果	△19,569	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、揚水機、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	159,380	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	90	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減 対象施設：創設非農用地
計		982,234	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	都 鳥 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 9 6 8, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	3 4 2, 4 4 0 千円	
廃 用 損 失 額	③	4 1, 1 0 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	6, 4 4 4, 5 0 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 9	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 2, 2 9 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、ピーマン、牧草、きゅうり、トマト
営農経費の節減	1 9 5, 2 6 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	3 2, 5 7 9	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	9 2, 1 5 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	1 4 9	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減 対象施設：創設非農用地
計	3 4 2, 4 4 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	三 輪 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 8 1 7, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 4 7, 5 4 6千円	
廃 用 損 失 額	③	1, 5 8 9千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	2, 5 1 1, 9 7 1千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 8	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	8, 1 5 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦
営農経費の節減	1 1 6, 7 8 9	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、大麦
	1 0, 1 7 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、揚水機、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	1 1, 9 2 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	5 0 3	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減 対象施設：創設非農用地
計	1 4 7, 5 4 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	真野大谷地 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	-----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 0 9 6, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	3 1 9, 2 3 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5, 6 1 0, 5 2 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	2. 6 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1, 3 3 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 9 8, 5 5 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	3, 0 1 1	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6, 3 4 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
計		3 1 9, 2 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	青木川２期
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 8 6 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	3 5 3, 2 2 6千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	6, 3 8 7, 4 5 0千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	2. 2 3	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 5, 6 4 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 0 4, 3 6 9	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	1 5, 9 0 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 7, 3 0 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路、揚水機
計		3 5 3, 2 2 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	青生 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3, 6 1 8, 2 6 0 千円	
年 効 用	②	2 9 5, 4 5 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	5 5, 1 1 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5, 6 1 5, 7 3 4 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 5 5	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 5, 4 8 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦、 ねぎ、ほうれん草、 ばれいしょ、なす、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 5 4, 1 7 7	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	6, 2 9 2	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路、 揚水機、ダム、用水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 9, 4 9 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
計		2 9 5, 4 5 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	栗原 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 6 0 6, 8 5 4 千円	
年 効 用	②	1 3 9, 3 7 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	2, 4 8 4, 4 7 4 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 5 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5, 6 1 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、きゅうり、ほうれん草
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 1 6, 3 1 5	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	4, 7 3 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 2, 7 1 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
計		1 3 9, 3 7 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	藤 琴
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 7 2 2, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 2 4, 8 8 4千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	2, 1 6 4, 3 6 7千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 2 5	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1, 7 3 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、うど、アスパラガス
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 8, 2 8 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	3 0, 3 1 2	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 4, 5 5 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機
計		1 2 4, 8 8 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	常盤本郷
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 4 1 4, 3 5 0千円	
年 効 用	②	1 2 3, 2 9 4千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2, 2 5 8, 1 3 2千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 5 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1, 0 5 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、ねぎ、みょうが、ほうれん草
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 5, 5 4 5	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	9, 2 8 2	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 7, 0 7 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機、取水施設
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	3 3 3	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地籍が明確となる効果
計		1 2 3, 2 9 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	左 手 子
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	583,800千円	
年 効 用	②	50,158千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	894,082千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.53	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	5,359	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、ねぎ、とうもろこし、ブロッコリー
営農経費の節減	36,376	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	4,081	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2,818	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	203	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地籍が明確となる効果
	1,321	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：排水路
計	50,158	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	本 堂 城 回
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6,712,650千円	
年 効 用	②	527,552千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	10,488,111千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.56	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	52,442	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、枝豆、アスパラガス、大豆、トマト、セリ、ほうれん草、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	364,947	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	15,439	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	37,308	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	文化財発見効果	14,739	発掘調査により文化的価値が明確となる効果 対象遺跡：本堂城、払田柵遺跡
	地籍確定効果	333	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により地籍が明確となる効果
	水辺環境整備効果	42,344	動植物の生息に配慮した整備を行うことにより、豊かな生態系が保全される効果 対象施設：湧水保護盛土
計		527,552	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	国 見
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 3 5 2, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	3 3 0, 3 4 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5, 5 3 3, 4 3 4 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	2. 3 5	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9 5, 8 2 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、枝豆、ほうれん草、大豆、アスパラガス、トマト、そら豆、なす
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 4 5, 8 2 7	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	1 5, 3 0 4	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 1, 9 1 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	1, 4 7 2	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：生態系保全池
計		3 3 0, 3 4 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	原
-----	-------------	-------	-----	-----	---

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 5 3 9, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 0 4, 4 0 1千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2, 0 0 3, 8 5 8千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 0	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2, 3 7 7	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、夏秋トマト、ほうれん草
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 6, 7 3 6 排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	9, 3 9 3 用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5, 5 4 2 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	3 5 3 発掘調査により文化的価値が明確となる効果 対象遺跡：坊主山遺跡
計	1 0 4, 4 0 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	押 釜
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	930,000千円	
年 効 用	②	51,511千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	988,695千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,122	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、加工ばれいしょ
営農経費の節減	43,220	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	2,899	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,817	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	127	社会的要請に基づき橋梁高欄を設置することにより、安全性が向上する効果
	326	発掘調査により文化的価値が明確となる効果 対象遺跡：内畑遺跡
計	51,511	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	新 田 作
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	595,000千円	
年 効 用	②	33,572千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	614,872千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	957	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、ピーマン、葉たばこ、地力増進作物、大豆、そば
営農経費の節減	26,253	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	4,150	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,716	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	306	発掘調査により文化的価値が明確となる効果 対象遺跡：笹内遺跡
	190	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：環境創造水路
計	33,572	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	九 生 滝
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	602,000千円	
年 効 用	②	34,526千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	624,340千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,898	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、飼料作物、 りんどう、大根、馬鈴薯、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	25,638	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	3,457	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,029	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	504	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：ほたる水路
計		34,526	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	土 田 北
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	5 2 7, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	3 1, 7 1 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	6 2 5, 5 2 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 8	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	6 0 5	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、そば、ほうれん草
営農経費の節減	2 6, 7 7 9	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	1, 9 2 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2, 4 0 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
計	3 1, 7 1 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	滝 川
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6 4 3, 1 8 5 千円	
年 効 用	②	3 8, 6 8 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	6 8 9, 6 0 8 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 2, 8 1 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻，いちご，きゅうり，ねぎ，大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 5, 1 1 8	排水改良等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻，いちご，きゅうり，ねぎ，大豆
	維持管理費節減効果	2 8	農道や用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道,用水機場,用水路,排水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	6 2 2	非農用地創設にかかる諸経費の節減
	水辺環境整備効果	1 0 9	排水路の一部を生態系に配慮した水路とすることによる水辺環境の保全
計		3 8, 6 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	大 宝 沼
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 8 7 7, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 6 9, 1 6 7千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	2, 8 8 1, 8 9 1千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 5 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 2, 5 2 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻,大豆,ネギ,小麦
	品 質 向 上 効 果	6, 5 1 9	農道の整備による生産物運搬時の損傷の軽減 対象作物：ネギ,白菜,ほうれん草,梨
営農経費の節減	営農経費節減効果	9 3, 4 7 1	排水改良等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻,大豆,ネギ
	維持管理費節減効果	1 4, 9 4 8	農道や用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道,用水機場,用水路,排水路
	営農に係る走行経費節減効果	9, 2 3 4	農道の整備による輸送や走行に係わる経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1, 6 8 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	一般交通等経費節減効果	1, 3 2 9	農道の整備による一般交通に要する経費の節減
	非農用地創設効果	1 9, 0 8 2	非農用地創設に係る諸経費の節減
	水辺環境整備効果	3 7 6	排水路や調整池における自然環境の保全
計		1 6 9, 1 6 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	伊奈二期
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 1 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	7 4, 4 1 2千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 9年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 2 2 3, 8 8 1千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 1	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 4, 0 3 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、六条大麦、ねぎ
	品 質 向 上 効 果	7 9 9	農道を舗装することで、生産物運搬時の損傷を軽減 対象作物：ねぎ、はくさい、ほうれんそう
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 7, 7 2 0	排水改良等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、大麦、ねぎ
	維持管理費節減効果	6, 0 4 8	農道や用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 0, 5 5 0	農道の整備による輸送や走行に係わる経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 3, 8 5 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	1, 2 0 4	安全施設の設置による地域の安全性向上に係わる効果 対象施設：農道
	水辺環境整備効果	2 0 3	排水路の一部を生態系に配慮した水路とすることによる水辺環境の保全
計		7 4, 4 1 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	手野 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 0 0 9, 5 1 7 千円	
年 効 用	②	2 8 2, 6 0 0 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	4, 8 1 4, 3 1 0 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 0	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9, 6 2 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻, レンコン, セリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 7 1, 0 7 9	排水改良等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：レンコン
	維持管理費節減効果	△ 2, 1 5 0	農道や用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道, 用水機場, 用水路, 排水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地創設効果	4, 0 5 1	非農用地創設にかかる諸経費の節減
計		2 8 2, 6 0 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	西 沢
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4 8 4, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	3 3, 5 2 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	2, 7 1 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	6 2 6, 2 5 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2, 5 3 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻, 二条大麦, 大豆, ニラ, いちご, 飼料作物, さといも
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 2, 5 7 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻, 二条大麦, ニラ, いちご, 白菜, さといも
	維持管理費節減効果	8 9 4	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：揚水機, 用水路, 排水路, 道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3, 7 5 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1, 7 2 2	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路, 施設用地
	地 籍 確 定 効 果	3 6 0	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる効果 対象区域：地区全域
	水辺環境整備効果	1, 6 8 2	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積み水路等とすることによる水辺環境保全 対象施設：排水路
計		3 3, 5 2 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	藤 江
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 7 9, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 0 3, 9 3 0千円	
廃 用 損 失 額	③	2, 0 0 7千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 8年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 9 4 7, 8 9 9千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 8 0	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9, 5 4 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻,二条大麦,大豆,いちご,さといも
	品 質 向 上 効 果	3, 6 9 3	砂利道を舗装することにより農作物の荷痛みを防止する効果 対象作物：いちご
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 9, 1 1 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻,大豆,いちご,ニラ,さといも,白菜
	維持管理費節減効果	1 2, 0 3 5	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：揚水機,用水路,排水路,道路
	営農に係る走行経費節減効果	6 0 6	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される効果 対象車両：軽4輪、2t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5, 9 2 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	8 7 5	安全施設の設置（ガードレール） による、安全性向上に係わる効果
	地 籍 確 定 効 果	9 5 0	区画が整形化され、換地事業により 地籍が明確になる効果 対象区域：地区全域
	水辺環境整備効果	1, 1 8 6	排水路の一部を魚類等の生息環境 に配慮した深み水路魚道落差工等 とすることと、生息区域分断を回 避するための藍を設置する水辺環 境保全 対象施設：用水路・排水路
計		1 0 3, 9 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	深 津
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 9 3, 0 0 0千円	
年 効 用	②	7 5, 7 9 7千円	
廃 用 損 失 額	③	3 3 8千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 9年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 4 3 5, 2 1 1千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 0	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 3, 6 1 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻,大豆,いちご,にら
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 6, 2 9 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻,いちご,にら,大豆
	維持管理費節減効果	△ 6 1 2	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：揚水機,用水路,排水路,道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2, 3 3 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	3, 1 1 5	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路,施設用地
	地 籍 確 定 効 果	8 5 1	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる効果 対象区域：地区全域
	水辺環境整備効果	2 0 2	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した深み水路、魚道落差工等とすることによる水辺環境保全 対象施設：排水路
計		7 5, 7 9 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	小 代
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	817,000千円	
年 効 用	②	63,828千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	46年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0495	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,289,455千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.57	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,336	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻,大豆,そば,にら,さといも
営農経費の節減	営農経費節減効果	56,907	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻,大豆,にら,そば,大根,さといも
	維持管理費節減効果	1,329	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	612	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路,河川,施設用地
	地籍確定効果	594	区画が整形化され換地事業により地籍が明確になる効果
	水辺環境整備効果	1,050	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した深み水路、魚道落差工等とすることによる水辺環境保全 対象施設：排水路
計		63,828	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	上 奥 沢
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	788,000千円	
年 効 用	②	47,921千円	
廃 用 損 失 額	③	6,542千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	847,665千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4,683	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻,二条大麦,大豆,ニラ,ナス
営農経費の節減	営農経費節減効果	34,728	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻,二条大麦,大豆,ニラ,ナス
	維持管理費節減効果	2,161	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4,179	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1,548	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路
	地 籍 確 定 効 果	622	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる効果
計		47,921	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	埼玉県	地区名	手子林第三
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 4 2 2, 7 5 0千円	
年 効 用	②	1 0 1, 6 3 3千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 6 3 9, 2 4 2千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 5	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 3, 8 8 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：小麦,大豆,野菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 1, 9 3 8	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	8 3 0	用排水施設の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
施設の更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 0, 7 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	2, 2 1 0	地籍確定による国土調査費用の節減 対象区域：地区全域
	水辺環境整備効果	2, 0 0 8	排水路の一部を生態系に配慮した水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		1 0 1, 6 3 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	北郷北部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	958,000千円	
年 効 用	②	48,072千円	
廃 用 損 失 額	③	5,407千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	46年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0494	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	967,710千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.01	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8,068	水田の排水改良等による裏作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、里いも、水掛菜、大根、白菜、飼料作物、ばれいしょ
営農経費の節減	営農経費節減効果	42,072	小区画半湿田を中区画乾田にすることによる営農経費の節減 対象施設：区画整理
	維持管理費節減効果	△3,110	用排水施設、道路等の改修に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：道路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,042	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		48,072	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	河間三ツ門
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 0 8 4, 1 7 2 千円	
年 効 用	②	1 2 4, 8 4 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	3 7, 2 0 2 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	2, 1 5 6, 8 4 0 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 4, 6 1 0	水田の用排水施設改修及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、枝豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 8, 8 2 7	ほ場の大区画化及び乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、枝豆
	維持管理費節減効果	1, 4 5 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	2 6	関連事業（県営かん排）の施行に伴う道路の改修により、農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 7, 3 5 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	2, 4 3 6	関連事業（県営かん排）の施行に伴う施設の更新による耐用年数の増加 対象施設：橋梁、揚水機場、樋管
	水辺環境整備効果	1 3 0	関連事業（県営かん排）の施行に伴い排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計		1 2 4, 8 4 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	羽黒 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 3 3 2, 1 2 3 千円	
年 効 用	②	7 7, 9 5 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	2 3, 5 9 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 3 8 6, 1 1 8 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 2, 3 8 1	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、えだまめ、なす、ばれいしょ、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 1, 3 3 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、えだまめ、なす、ばれいしょ、キャベツ
	維持管理費節減効果	3 7 5	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 3, 8 6 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：支線排水路、揚水機、道路
計		7 7, 9 5 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	五十公野 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3, 9 0 6, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	2 4 2, 9 3 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	4, 6 0 0, 9 8 5 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 1 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 3, 4 8 6	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、なす、えだまめ
営農経費の節減	2 1 2, 1 6 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、なす、えだまめ
	1, 9 5 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：ファームポンド、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2, 9 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路（市道）
地域の生活環境の保全・向上	8 0 6	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
	1, 5 8 4	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計	2 4 2, 9 3 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	野際
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	210,000千円	
年 効 用	②	13,125千円	
廃 用 損 失 額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1＋ 建設利息率)	⑤	0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	243,506千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.15	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	576	水田の用水施設改修及び客土による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆
営農経費の節減	3,599	用水施設の改修に伴う一般水管理時 間の節減 対象作物：水稻
	2,238	用排水施設等の改修、統廃合に伴う 施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	6,712	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用水路
計	13,125	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	潟3期
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	8, 0 0 1, 7 2 9千円	
年 効 用	②	4 6 0, 1 3 0千円	
廃 用 損 失 額	③	7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	8, 3 2 0, 6 0 8千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 9， 2 6 3	水田の用排水分離及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、ねぎ
	営農経費の節減	3 7 4， 8 9 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、ねぎ
	維持管理費節減効果	△ 1， 8 6 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 3， 7 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：支線用排水路、町道、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1， 1 2 6	非農用地を換地手法により合理的に創設することによる用地交渉費等の節減
	公共施設保全効果	1	関連事業（県営かん排）の施行に伴う施設の更新により耐用年数の増加 対象施設：付替道路
	地 籍 確 定 効 果	2， 9 8 3	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計		4 6 0， 1 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	串田 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 3 9, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	9 4, 1 5 8 千円	
廃 用 損 失 額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 6 5 4, 7 9 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 3 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3, 9 0 3	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 2, 9 8 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	2 7 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 0, 8 1 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	4, 4 1 9	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
	水辺環境整備効果	1, 7 6 3	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計		9 4, 1 5 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	小山
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4 4 1, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	2 9, 2 8 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	4 9 0, 5 5 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 1	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	品 質 向 上 効 果	1 9 9	荷痛み防止による商品量の増加 対象作物：大根、はくさい 砂塵発生軽減(農道舗装)による生産物単価の増加 対象作物：大豆、大根、はくさい
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2, 1 0 7	農地集積に伴う経営規模の変化（作付体系、作業体系、機械体系）による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	6, 5 9 0	用排水路改修及び農道舗装による施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	2, 1 0 5	農道改良による農産物輸送及び通作交通の走行時間短縮と輸送車種転換による走行経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 8, 2 8 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
計		2 9, 2 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	野々江２期
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	９６６，０００千円	
年 効 用	②	７７，４３３千円	
廃 用 損 失 額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	２８年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	０．０６２０	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	１，２４８，９１９千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	１．２９	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	３，８５２	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、かぼちゃ、ブロッコリー
営農経費の節減	６２，６３１	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	８４５	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	７，６８７	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	１，９３０	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
	４８８	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計	７７，４３３	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	西三階
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	794,785千円	
年 効 用	②	49,625千円	
廃 用 損 失 額	③	一千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	872,144千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.09	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2,346	水田の用排水施設改修及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、ねぎ
営農経費の節減	31,602	ほ場の大区画化及び乾田化に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	1,785	用排水施設等の改修、揚水機の新設に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	12,389	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	440	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
	1,063	環境に配慮した機能を付加させることによる水辺環境の保全・創造 対象施設：ビオトープ、石積水路、魚巢ブロック
計	49,625	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	志雄
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	893,249千円	
年 効 用	②	61,423千円	
廃 用 損 失 額	③	44,730千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	984,131千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.10	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2,618	水田の用排水施設改修及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆
営農経費の節減	47,785	ほ場の大区画化及び乾田化に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	170	用排水施設等の改修、揚水機の新設に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	10,186	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	296	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
	368	施設機能を維持しつつ環境に配慮することによって生じる効果 対象施設：環境配慮水路、ビオトープ
計	61,423	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	末佐美
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4 6 2, 2 2 8 千円	
年 効 用	②	3 4, 0 3 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0. 0 6 7 3	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	5 0 5, 7 0 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 0 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1, 6 2 4	水田の用水施設改修及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	7, 3 7 2	用水改良による水管理の省力化及び乾田化に伴う労働時間の短縮 対象作物：水稻、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	1, 8 8 4	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 3, 1 5 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、揚水機
計		3 4, 0 3 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福井県	地区名	下市
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	396,900千円	
年 効 用	②	44,047千円	
廃 用 損 失 額	③	一千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	737,806千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.85	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	1,679	水田の用排水施設改修、客土及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、トマト、ほうれん草
営農経費の節減	35,208	ほ場の大区画化及び乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、トマト、ほうれん草
	1,542	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	5,425	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道揚水機場
地域の生活環境の保全・向上	112	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
	81	排水施設を魚類の生態系に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計	44,047	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福井県	地区名	下舌・上黒谷
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 6 8 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 0 3, 3 0 2千円	
廃 用 損 失 額	③	－千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 3年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 8 1 5, 5 0 1千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 0 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5, 7 6 0	水田の用排水施設改修及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、さといも、だいこん
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 4, 1 8 3	ほ場の大区画化及び乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、さといも、だいこん
	維持管理費節減効果	2 8, 6 1 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道揚水機、溜池
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 4, 2 9 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	2 7 9	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
	水辺環境整備効果	1 7 3	動植物の生息に配慮した整備を行う事により、豊かな生態系が保全される効果 対象施設：排水路
計		1 0 3, 3 0 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛知県	地区名	大宝
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6 6 2, 2 5 0 千円	
年 効 用	②	4 3, 0 5 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	7 3 3, 5 0 9 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 0	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	6, 3 8 5	排水改良による作物の単収の増加 対象作物：水稻、小麦、ねぎ、えだまめ、ほうれんそう
営農経費の節減	4, 0 9 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦
	1, 5 4 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路(関連)、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	3 1, 0 3 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路(関連)、排水路
計	4 3, 0 5 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛知県	地区名	津平
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	939,300千円	
年 効 用	②	70,488千円	
廃 用 損 失 額	③	11,154千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0570	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,225,478千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,660 ほ場の大区画化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：水稲，小麦，大豆
	維持管理費節減効果	2,787 用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	60,591 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場等
地域の生活環境	安全性向上効果	2,336 関連事業：国か新矢作川用水地区
	文化財発見効果	212 関連事業：国か新矢作川用水地区
	公共施設保全効果	72 関連事業：国か新矢作川用水地区
	地域用水効果	105 関連事業：国か新矢作川用水地区
	水辺環境整備効果	2,725 関連事業：国か新矢作川用水地区
計		70,488

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	三重県	地区名	鈴鹿川沿岸4期
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 8 4 2, 8 0 8千円	
年 効 用	②	1 1 4, 7 6 5千円	
廃 用 損 失 額	③	2 0 7千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 0年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0601	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 9 0 9, 3 6 0千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 8, 8 1 6	水田の排水改良による転作作物の面積拡大 対象作物：水稻、小麦、大豆、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 6, 4 8 8 用水路のパイプライン化に伴う用水管理時間の短縮 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	2 0, 5 3 0 水路改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
	営農に係る走行経費節減効果	2, 2 5 4 農道拡幅による輸送手段の変更に伴う走行経費の減 対象施設：水稻、小麦、大豆、白菜
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 4, 9 4 5 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	3 4 5 水路改修に伴い社会的要請のある区間を暗渠化することによる安全性向上 対象施設：用水路
	公共施設保全効果	1, 3 8 7 水路改修に伴う公共埋設施設の更新 対象施設：水道等公共施設
計		1 1 4, 7 6 5

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	三重県	地区名	兄国・朝長
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	794,223千円	
年 効 用	②	47,548千円	
廃 用 損 失 額	③	8,959千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0542	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	868,310千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.09	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果 2,180	水田の用水改良による転作作物の面積拡大 対象作物：水稲、小麦、大豆、キャベツ
	品質向上効果 152	舗装道に整備することによる荷痛防止に伴う収量増 対象作物：水稲、小麦、大豆、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果 3,964	用水路のパイプライン化に伴う用水管理時間の短縮 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果 4,013	水路改修に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路
	営農に係る走行経費節減効果 843	農道拡幅による輸送手段の変更に伴う走行経費の減 対象施設：水稲、小麦、大豆、キャベツ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果 33,076	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果 381	水路改修に伴い社会的要請のある区間を暗渠化することによる安全性向上 対象施設：用水路
	公共施設保全効果 2,939	水路改修に伴う公共埋設施設の更新 対象施設：水道等公共施設
計	47,548	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	内保・湯次
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	312,000千円	
年 効 用	②	19,866千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0593	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	335,008千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2,136	水田の用水改良等による転作作物のや面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小麦、白菜、キャベツ
営農経費の節減	7,520	用排水施設の改修等による高性能農業機械の導入、機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、白菜、キャベツ
	1,201	用排水路の改修・廃止等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	8,647	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	362	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路等を設置することによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計	19,866	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	丁野・二俣
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4 6 0, 9 9 0 千円	
年 効 用	②	3 5, 5 8 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	5 9 6, 0 9 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2, 8 7 7	水田の用水改良等による転作作物の や面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小麦、白 菜、キャベツ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 5, 0 8 3	用排水施設の改修等による高性能農 業機械の導入、機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、白 菜、キャベツ
	維持管理費節減効果	2, 8 1 9	用排水路の改修・廃止等に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1 4, 4 7 4	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境 の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	3 3 4	排水路の一部を魚類等の生息環境に 配慮した水路等を設置することによ る水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		3 5, 5 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	湖北東
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	581,138千円	
年 効 用	②	38,112千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	626,842千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,558	水田の用水改良等による転作作物のや面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小麦、白菜
	品質向上効果	3	農道の舗装による荷傷みの防止に伴う商品化率の向上 対象作物：白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	9,702	用排水施設の改修等による高性能農業機械の導入、機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、白菜
	維持管理費節減効果	1,479	用排水路、道路の改修・廃止等による維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	296	農道整備に伴う稼働時間短縮により生じる走行経費節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、白菜
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	24,202	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	872	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路等を設置することによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		56,623	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	城南Ⅱ
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 8 2, 9 8 6 千円	
年 効 用	②	9 1, 0 3 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 4 7 7, 7 9 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 5	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5， 1 2 1	水田の用水改良等による転作作物の や面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小麦、トマ ト、キュウリ、キャベツ、タマネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8， 9 8 3	用排水施設の改修等による高性能農 業機械の導入、機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、トマ ト、キュウリ、キャベツ、タマネギ
	維持管理費節減効果	8 6 5	用排水施設等の新設、改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、揚水機、管理 施設
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	6 4， 2 0 8	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機、管理 施設
地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	1， 8 5 5	排水路の一部を魚類等の生息環境に 配慮した水路等を設置することによ る水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		9 1， 0 3 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	京都府	地区名	榎
-----	-------------	-------	-----	-----	---

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 5 7 8, 0 0 0千円	
年 効 用	②	9 5, 7 9 2千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 3年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 8 8 9, 3 8 9千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 1 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 2, 4 1 7	水田の用水改良等による単収の増加 や面積拡大等による作付の増加 対象作物：水稲、大麦、白大豆、大かぶ、水菜、賀茂なす
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 7, 7 5 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮 や機械経費の縮減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	1 3 3	用排水施設の改修等に伴う施設の維持 管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1 1, 8 7 5	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境 の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	1 2, 9 7 4	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具 現化されると共に発掘調査により、 文化的価値が明確となる効果の発現
	地 籍 確 定 効 果	6 4 2	ほ場整備により地籍が確定すること による効果
計		9 5, 7 9 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	青木
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	415,800千円	
年 効 用	②	25,221千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	488,779千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.17	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,595	水田の水管理改良による単収の増加や転作作物の面積拡大等による作付の増加 対象作物：水稻(酒米)、黒大豆、キャベツ
営農経費の節減	営農経費節減効果	20,966	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の縮減 対象作物：水稻(酒米)、黒大豆、キャベツ
	維持管理費節減効果	△209	用排水施設の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	200	ほ場整備において、換地手法を用いて先行的・計画的に公共用地の非農用地を円滑に創設することにより、合理的かつ経済的に用地を取得する効果 対象施設：県道用地、公民館
	水辺環境整備効果	669	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		25,221	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	氷上北Ⅲ
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	143,850千円	
年 効 用	②	11,657千円	
廃 用 損 失 額	③	8,845千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0638	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	173,867千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.20	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,502	水田の排水改良と客土による水稻の単収の増加と作目転換による生産量の増加 対象作物：水稻、黒大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,093	パイプライン化によるかんがい排水管理時間の短縮及び湿田の乾田化に伴う農業機械の作業効率向上による営農時間の短縮 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	579	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5,483	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機、用水路
計		11,657	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	御陵Ⅰ期
-----	-------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	８２５，３００千円	
年 効 用	②	８８，５７２千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	３２年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	０．０５７８	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	１，５３２，３８８千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	１．８５	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	５，９５２	水田の土壌改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、玉ねぎ、レタス、白菜、キャベツ、飼料作物
営農経費の節減	営農経費節減効果	６０，３１１	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の縮減 対象作物：水稻、玉ねぎ、レタス、白菜、キャベツ、飼料作物
	維持管理費節減効果	４０２	用水施設の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、排水路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	１９，５９２	老朽化施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、排水路、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	１，６７９	ほ場整備事業の面的整備事業において、換地手法を用い、先行的、計画的に公共用地の非農用地を円滑に創設する効果 対象施設：農機具庫、集会場等
	水辺環境整備効果	６３６	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		８８，５７２	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	五斗長
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	816,900千円	
年 効 用	②	56,623千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,009,323千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.23	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,937 水田の水管理改良による単収の増加や面積拡大等による作付の増加 対象作物：水稻、玉ねぎ、ブロッコリー、飼料作物
	品質向上効果	222 農道の舗装整備による荷傷みの防止による 対象作物：玉ねぎ
	維持管理費節減効果	△1,949 用水施設の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、道路、揚水機
	営農に係る走行経費節減効果	2,015 農道の改良に伴う農産物の輸送経費の節減 対象作物：水稻、玉ねぎ、ブロッコリー、飼料作物
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5,137 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	221 ほ場整備において、換地手法を用いて先行的・計画的に公共用地の非農用地を円滑に創設する 対象施設：県道用地、農機具庫
	地籍確定効果	385 ほ場整備により地籍が確定することによる効果
	水辺環境整備効果	518 法面植生や水質保全による水辺環境の保全
計		56,623

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	南光
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	177,975千円	
年 効 用	②	16,276千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	20年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0750	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	217,013千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.21	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,173 水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、はくさい、キャベツ
	品質向上効果	509 農道の舗装による荷痛みの防止等による収益の増加 対象作物：はくさい、キャベツ、なす
営農経費の節減	営農経費節減効果	534 水田の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	2,723 用水施設、農道の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	8,643 農道の改良に伴う農産物の輸送経費の節減 対象施設：道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	694 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計	16,276	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	島根県	地区名	千 酌
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	609,000千円	
年 効 用	②	35,167千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	652,448千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	1,330	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、そば
営農経費の節減	25,637	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、そば
	769	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	3,268	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	4,080	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
	83	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計	35,167	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	島根県	地区名	加 茂 西
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	808,500千円	
年 効 用	②	45,787千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	46年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0494	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	926,862千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.14	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6,368	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、たまねぎ、キャベツ、花卉、飼料
営農経費の節減	営農経費節減効果	36,351	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、たまねぎ、キャベツ、花卉、飼料
	維持管理費節減効果	969	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,099	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		45,787	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	島根県	地区名	隅
-----	-------------	-------	-----	-----	---

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	390,600千円	
年 効 用	②	30,164千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	545,461千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.39	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	1,778	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、たまねぎ、里芋、なす、トマト、メロン
営農経費の節減	25,900	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、たまねぎ、里芋、なす、トマト、メロン
	1,002	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	658	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	261	国土調査が未実施の地域で区画整理により区画が整形化され、付随的に地籍が明確となる効果の発現
	565	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計	30,164	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	宮 部
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	640,500千円	
年 効 用	②	41,466千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	682,006千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,877	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、黒大豆、アスパラガス、飼料作物
営農経費の節減	営農経費節減効果	29,227	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、黒大豆、アスパラガス、飼料作物
	維持管理費節減効果	1,585	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5,431	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	文化財発見効果	1,346	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
計		41,466	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	広島県	地区名	西 田 口
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	609,000千円	
年 効 用	②	45,980千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0578	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	795,501千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2,371	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、アスパラガス、小麦、ピーマン、なす
営農経費の節減	40,021	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、アスパラガス、小麦、ピーマン、なす
	103	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2,808	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	677	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
計	45,980	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山口県	地区名	川 西 第 一
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 5 1 2, 9 0 0千円	
年 効 用	②	2 8 5, 0 3 8千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	4, 8 5 5, 8 4 3千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 5, 9 7 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小麦、キャベツ、たまねぎ、飼料他
営農経費の節減	2 5 1, 0 2 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小麦、キャベツ、たまねぎ、飼料他
	△ 8, 2 3 3	用排水施設等の新設、改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、排水機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2 0, 0 2 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による災害防止	5, 4 2 1	排水施設の整備、新設により、農用地、農業用施設及び一般公共施設の湛水等被害の防止と軽減 対象施設：排水路、排水機場
地域の生活環境の保全・向上	8 2 6	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計	2 8 5, 0 3 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山口県	地区名	上　　り　　熊
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区　　分	算　定　式	数　　　値	備　　　考
総　事　業　費	①	１，００８，０００千円	
年　　効　　用	②	７３，３７７千円	
廃用損失額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	３１年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	０．０５８７	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総　　便　　益	⑥＝②÷⑤－③	１，２５０，０３４千円	
費用便益比	⑦＝⑥÷①	１．２４	

２．年効用の総括

項　　　目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	２，７５４	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、にんじん、たまねぎ、馬鈴薯
営農経費の節減	５８，３２３	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、にんじん、たまねぎ、馬鈴薯
	１，２２１	用排水施設等の新設、改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	２，７１３	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	８，１６０	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
	２０６	用水施設の一部を水生生物の生息に配慮した施設とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：調整池
計	７３，３７７	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	徳島県	地区名	御 所
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 7 4 6, 1 5 0 千円	
年 効 用	②	1 2 0, 5 3 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 9 6 9, 5 9 1 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 2	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	6 5, 1 4 8	水田の用水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、葉たばこ、レタス、スイートコーン、トマト他
営農経費の節減	8, 3 8 3	用水路の管水路化及び道路の改良に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、葉たばこ、レタス、スイートコーン、トマト他
	1 0 0	用水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、用水機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	3 9, 6 6 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、用水機場、道路
地域の生活環境の保全・向上	7, 2 4 3	管水路埋設に伴う市道等の舗装及び水道管の更新により、耐用年数が増加する付随的效果
計	1 2 0, 5 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	徳島県	地区名	古養水・東北
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	999,600千円	
年 効 用	②	78,668千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0564	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,394,822千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.39	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	48,654	水田の用水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、なす、ブロッコリー、レタス、トマト他
営農経費の節減	4,182	用水路の管水路化に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、なす、ブロッコリー、レタス、トマト他
	5,535	道路の新設、改修に伴う走行時間の短縮や機械経費の節減 対象輸送作物：水稲、なす、ブロッコリー、レタス、トマト他
	△1,430	用水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、用水機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	21,681	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、用水機場、道路
地域の生活環境の保全・向上	46	道路の新設、改良による一般交通の走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減
計	78,668	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	竹野
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 6 2 0, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 2 4, 4 3 4千円	
廃 用 損 失 額	③	8 6, 4 6 1千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	2, 2 4 8, 1 3 6千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 3 8	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	4 4, 7 4 0	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、さざんか、レッドピノ、ラカンキ、シラネ、いちご、トマト、小麦、あじさい
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 8, 8 5 5 ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、いちご、トマト、小麦
	維持管理費節減効果	6 1 8 用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 4, 8 9 2 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	文化財発見効果	3 4 5 発掘調査により文化的価値が明確になる効果
	水辺環境整備効果	4, 9 8 4 地域住民の生活環境の利便性向上、都市住民等への「憩いの場」「やすらぎの場」等を提供できる等、水辺環境が保全、創造できる効果
計		1 2 4, 4 3 4

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	角田北部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	735,000千円	
年 効 用	②	42,940千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	765,419千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.04	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	7,353	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、きゅうり、なす、きゃべつ、小麦、レタス、なばな、いちじく
営農経費の節減	24,156	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、きゅうり、なす、きゃべつ、小麦、レタス、なばな
	630	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	10,784	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	17	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減がなされる効果
計	42,940	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	大授搦・大搦
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 4 6 2, 6 5 0 千円	
年 効 用	②	1 2 0, 5 2 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 6 9 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 7 3 4, 2 0 1 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 1 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 6, 3 9 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、麦、大豆、イチゴ、アスパラ、タマネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 1, 3 7 4	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、大豆、タマネギ
	維持管理費節減効果	2 7, 5 2 0	用排水施設の改修による維持管理費の節減 対象施設：用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 5, 2 4 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
計		1 2 0, 5 2 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	腹赤
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	571,200千円	
年 効 用	②	33,988千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	589,046千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	10,488	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、ミニトマト、かぼちゃ
営農経費の節減	営農経費節減効果	15,834	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、かぼちゃ
	維持管理費節減効果	119	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,547	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		33,988	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	第二西区
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	413,700千円	
年 効 用	②	33,896千円	
廃 用 損 失 額	③	3,080千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	564,692千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.36	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 4 , 7 0 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、トマト、イ草、メロン、馬鈴薯、玉葱
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	7 3 8	道路の改良による集積作業の効率化 対象作物：イ草
	維持管理費節減効果	6 , 9 0 9	排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	5 , 6 9 7	道路の改良に伴う走行速度、車種転換等による走行経費の節減 対象作物：水稻、小麦、トマト、イ草、メロン、馬鈴薯、玉葱
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 , 8 1 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	景 観 保 全 効 果	4 1	排水路内の魚類の生息域確保による生態系の保全
計		3 3 , 8 9 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	新屋敷
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	225,750千円	
年 効 用	②	16,348千円	
廃 用 損 失 額	③	1,000千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	277,501千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.22	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	10,213	水田の排水改良等による転作物物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、いちご、イ草、メロン、馬鈴薯
営農経費の節減	営農経費節減効果	259	道路の改良による集積作業の効率化 対象作物：イ草
	維持管理費節減効果	628	排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	2,133	道路の改良に伴う走行速度、車種転換等による走行経費の節減 対象作物：水稲、小麦、いちご、イ草、メロン、馬鈴薯
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,109	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	景観保全効果	6	排水路内の魚類の生息域確保による生態系の保全
計		16,348	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	江田山崎
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	914,900千円	
年 効 用	②	47,366千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	47年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0490	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	966,653千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	11,184	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、マゴ、アールスメロン、ピーマン、きゅうり、大根等
営農経費の節減	26,880	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、アールスメロン、ピーマン、きゅうり、大根等
	1,986	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	5,412	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	1,185	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減がなされる効果 対象施設：河川、市道
	719	農業用ダムや用排水路を整備する際の道路の付け替えにより付随的に便益が向上する効果 対象施設：国営施設
計	47,366	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	浮堀
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6 6 2, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	4 0, 1 9 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	6 8 4, 7 8 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5, 9 0 4	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、里芋、レタス、たばこ、とうもろこし、馬鈴薯
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 3, 5 4 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、里芋、レタス、とうもろこし、馬鈴薯、イタリアンライグラス
	維持管理費節減効果	8 0 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	9, 7 0 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 4 8	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減がなされる効果 対象施設：地区市民広場、歩道
計		4 0, 1 9 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	長田
-----	-------------	-------	------	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	8 1 1, 6 5 0 千円	
年 効 用	②	4 6, 1 1 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	8 2 1, 9 4 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 1	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9, 0 4 1	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：早期水稻，かんしょ，かぼちゃ，キャベツ，ゴボウ，飼料作物
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 0, 5 0 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：早期水稻，きゅうり，かんしょ，かぼちゃ，飼料作物
	維持管理費節減効果	1, 5 6 2	用排水改良等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路，排水路，農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3, 9 1 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路，排水路，農道
地域の生活環境の保全・向上	公 共 施 設 保 全 効 果	1, 0 8 3	町道へのパイプライン埋設に伴う町道施設更新により、耐用年数が増加する付随的效果
計		4 6, 1 1 1	